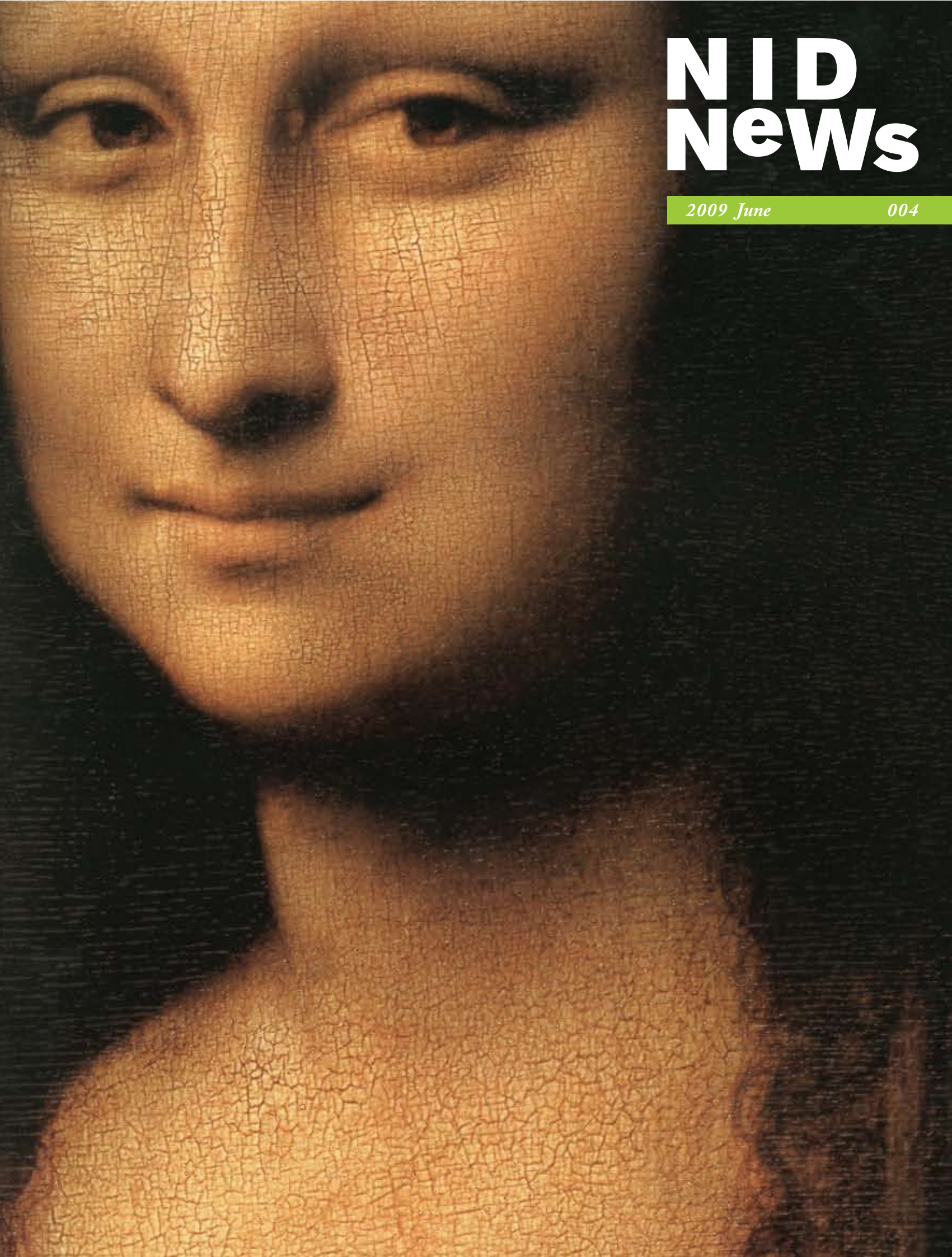




NID News

2009 June

004



NEWS

2010年春 第3アトリエ棟 新設！（予定）

2010年春、NIDに新しい校舎「第3アトリエ棟」が完成します。

菱形の構造がキャンパスの緑豊かな自然環境と調和しながらも、圧倒的な存在感があり、リズムカルに配置された平行四辺形の窓が新設で個性的なイメージを与えてくれる第3アトリエ棟。

3階建ての校舎は1階がデッサン室と市民工房。2・3階は中央の吹き抜け空間を挟んで「くの字形」のアトリエをステップ状に対称配置。このアトリエは1・2年生専用のアトリエで、2010年度の新入生は早速このアトリエを利用できる予定です。

デッサン室は天井高が5m以上あり、窓を北向きに高く配置し、デッサンのための安定した採光に配慮したつくりになっています。

「市民工房」は2010年4月開設予定の、一般市民の方を対象とした工房です。長岡エリアのデザイン＆アート発信基地として、各分野の実績あるスタッフによるアドバイスのもと、多くの人々が「長岡発」の作品づくりにチャレンジしていきます。

第3アトリエ棟は新しい発想を追究し、デザイナーやアーティストを目指すためのエネルギーなステージです。



NEWS

特集

基礎造形実習Ⅰ

1 年次前期では毎週月曜日から金曜日の午前中、学科間の壁を越えて、造形の基礎である「観る」「描く」「創る」を、デッサンや色彩、立体構成などといった実技を通して学んでいきます。また、1 週間毎日制作を行うことで、造形を学ぶうえでの課題に対する読解力・理解力・集中力やマナーなど様々な力を養っていきます。

◎ 描写：

この授業では、描くことを第一歩から学びます。形態を観察し立体的に捕らえる考え方と方法、使用する紙の種類や見分け方、描写における鉛筆の削り方と使い方から消しゴムの使い方まで、日常当たり前と考えていることから丁寧に理解し修得します。課題は幾何形態から自然物まで様々なものをモチーフとし、1 課題を毎日連続して粘り強く描きます。これにより形態と比率の把握、光と影、質感、遠近と空間性、画面の構成×構図関係の把握、対象物を取り込む感性・考察力を修得することを目的とします。このような学習を通じて、今後の様々な創作段階に伴う描くことへの理解と問題を解決する能力を培います。

□□ 色彩：

絵の具の使い方、色の作り方を学びます。頭の中で考えた自分が欲しい色を具現化する意味で、手作業を重視して行います。

課題のひとつを例にあげると、烏口（製図用の特殊なペン）を使ってキレイな線を引くということを行っています。現在ではコンピュータを使用して、誰でも簡単にキレイな線が引けますが、手作業でこのような作業を行うことにより、造形を学ぶうえでのマナーや丁寧さ、注意力を身につけるために行っています。

便利なことを利用するのではなく、手間のかかることを習う事により、パソコンに使われるのではなく、自分からコントロールする気持ち・考え方を学びます。

立方体：

私たちの日常は全て3次元の空間で営まれています。どのような造形を行う場合でも、この空間（立体）の世界をどのように認識し理解するかが重要な要素となります。この授業では、図面と図法の基礎を理解する事で、平面から立体へ・2次元から3次元への展開を理解し、立体を成立させる素材とその性質・加工法の原理を修得します。

粘土を使用する塑像ではその性質を理解し、形と量・造形とのつながりを実感し、粘土特有の細部までの表現を可能とする手法と高い完成度を実体験します。

紙を使用する課題では2次元素材を3次元に変化させる方法、面材の持つ特徴と線的要素の認識、構造的立体の理解、加工と接合の種類と方法など完成までの過程をイメージする能力を養います。





川越 ゆかり 准教授
プロダクトデザイン学科
専門分野：服飾デザイン、製作

NID・長岡の印象

長岡の印象は、新しいものと古いものがバランスよく寛大に共存している街であると感じました。そして多くの素材と、時には厳しいけれど豊かな自然。そんな土地の中にあるNIDは教員と学生の間が近く、コミュニケーションがしっかりしている、一人一人の学生を見据えていると思います。ただ学生はもっと積極的且つ元気に自分のカラー、NIDカラーを作ってもらいたいと感じました。

専門分野の魅力

服飾デザインの魅力はそもそも服飾そのものにあると思います。それは着る人(使い手)の内面を外なるものに表現できる一つの方法であるからです。内的には着心地や使い心地であり、外に対しては、人からどういう風に見られたいかといった、一つのコミュニケーションツールだからです。服飾デザインは人と人をつなぐ一番身近なもののづくりであると思います。私はスタイリストとして商業の衣裳やCDジャケットの衣裳、そしてフリーのデザイナーとしてウェアの他、服飾全般にわたって、デザイン製作してきました。そこでは、使ってもらう人との直接的コミュニケーション、CDジャケットの曲やタレント、そして商業では商品のイメージを伝える為のコミュニケーションツールの一つとして衣裳があり、様々な形で自己表現可能である事です。

今年1年の抱負

教員という仕事に就く事は初めてですが、これから将来の夢を持った学生と触れ合い、そしてその夢を現実にする為のお手伝いができる事はとても有意義なことです。日本が栄えてものが溢れ、一つ一つのものが大切にされなくなってきたこの時代に、これからのものづくりの意義と学生の夢が少しでも大きく、そして楽しんでものを作る事の重要性を理解してもらえればと思っています。



金澤 孝和 助教
プロダクトデザイン学科
専門分野：工業デザイン

NID・長岡の印象

まだ厳しい冬を体験していないので楽観はできないのですが、海も山も近く自然が沢山あり、食べ物も酒も美味しくて、最近気になり始めた体重・体脂肪がとても心配です。

新しいモノを生み出す仕事は見たり触れたりすること全てがアイデアの糧となります。大学の素晴らしい立地や設備もさることながら、自然に恵まれて、四季を感じながらモノづくりに励める環境が学生時代からあるという事に羨ましさを感じます。

専門分野の魅力

「モノ」をデザインする以前に生活自体をデザインすること。普段何気なく座っている椅子や生活雑貨でも、発想や視点を変えてモノづくりをしていくと生活自体をガラリと変えられる可能性を秘めています。モノがあふれる昨今、「モノ」が使われる「コト」の部分を丁寧に追い求めることによって生み出されたアイデアが、今まで以上に生活を便利に豊かにそして快適にしていく。それが具現化できたときに大きな喜びを感じます。

今年1年の抱負

大学を卒業してから昨年まで、家具のメーカーでデザイナーとして働いていました。デザインの作業というのはある意味とても孤独で、前職では丸1日誰とも喋らない日もありました。大学では沢山の人とコミュニケーションをとって互いに成長できるようになればと思っています。まずは全く違うこの環境に早く慣れること。しかしながら慣れすぎないよういつもフレッシュな気持ちを保つことを抱負に今年1年頑張ろうと思います。



原子 力 教授
視覚デザイン学科
専門分野：マンガ全般、イラストレーション

NID・長岡の印象

四月一日の就任の日には、まだまばらだった木々の緑が日一日青さを増してゆき信濃川堤の満開の桜、遠山の残雪、なんて綺麗！なんて素晴らしい環境なんだろう。

これから体験する大学を取り巻く四季の移り変わりが楽しみでなりません。

さらに、充実した工房施設と学科を越えて制作意欲と好奇心をくすぐる卒業制作等の作品の数々。

NID、なんかワクワクする大学です。

専門分野の魅力

「MANGA」が世界の共通語となり、多くの日本のストーリーマンガが世界に配信され、また内外の映画・TVの原作がマンガである事も今や少なくありません。

映画・映像では表現できない壮大な世界も、一本のペンで描き出せるのがマンガの力です。

もちろんストーリーマンガはマンガの一つのジャンル、表現方法にすぎません。マンガとは無限の表現方法を持つ絵画であり文学なのです、楽しいですよ。

今年1年の抱負

一人でも多くの学生と知り合い語り合い、また作品と接する機会を持ちたいと思います。

そしてその為の体力づくり！

少々重めの体重をちょっとだけ軽くするのも今年の目標！



結城 和廣 教授
美術・工芸学科
専門分野：美術科教育、総合学習

NID・長岡の印象

夜のNID。あちこちの窓から淡く広がる光が、線と面を際立たせ、構造物のデザイン性をモノトーンで浮かび上がらせます。画架を立て、校舎の一隅でスケッチする学生の息づかいや実習棟からほのかに聞こえる音が、夜の学舎に生命感を吹き込んでいるようです。市民が散歩し、幼稚園児が群れて遊ぶ昼のNIDとは異なる、そこにいるものだけが味わえる魅力です。

専門分野の魅力

有為なる人材を育てる仕事は、身体の内底からわき上がる高揚感をもたらしてくれます。今、大変な時代だからこそ、教育へ寄せる人々の期待も大きいと感じています。特に、「覚える教育から考える教育へ」の実現を目指すとき、五官を総動員して学ぶ美術・工芸の教育が果たす役割は大きく、そこにコミットしていく教師を育てることに強く惹かれるものがあります。

今年1年の抱負

教育という仕事に携わり、一步一步進んできた僅かな道のりを振り返っています。今年、新たなフィールドに立ち、アイデア、テクニック、コミュニケーションなどに優れた力を発揮し、しかも人間性豊かな人を育てたいと念じています。「教える」ことは「学ぶ」ことにほかなりません。人材育成の志を持ち、学び続けていきたいと思っています。



岡谷 敦夫 准教授
美術・工芸学科
専門分野：油彩、
版画（銅版、リトグラフ、木版）

NID・長岡の印象

まず、学生が素直であること。美術やデザインに対して無垢であること。そのためか、先生のいうことを熱心に聞く学生が多い印象です。そして、まず先生に言われたことを実践していて、フットワークが軽い学生が多い印象をうけています。また、先生方が教育に対し熱心です。いつも学生の視点にたったわかりやすい言葉を選び、実演をして指導をしています。先生方が学生とフランクに対話している姿も印象的です。

専門分野の魅力

専門分野は版画です。「版画は自分を映す鏡である。」という版画家の言葉があります。これは、版の物理的な作用により、刷り上がる作品が変化してしまうため、より制作者のイメージをはっきりと認識する必要があるという意味だと思っています。確かに自分自身で版を制作したはずなのに、ちょっと違う結果が生まれることもしばしばです。そんな意図しない結果も含めて、作品と対話することが可能な点が最大の魅力だと思っています。

今年1年の抱負

より多くの学生と対話して、作品に対して「なぜ？」と問いただしていきたいと思っています。美術の領域は、制作していく動機や作品の意味を、常に制作者自身に求めなければならない領域だと思っています。これは、制作者の身勝手な印象を与えることも多いことではあります。このような行動する論拠を自分自身に求めていくことは、美術にたずさわるとも、社会生活をおくっていく上で大切なスキルだと考えているからです。



中村 和宏 准教授
美術・工芸学科
専門分野：ガラス工芸

NID・長岡の印象

広大な自然公園の中にたたずむ、環境に配慮したデザインと融合された建築空間は、学生や教員・大学関係者などクリエイティブにかかわる人々に、純粋さ・美しさ・優しさを兼ね備える大切なファクターとして存在しているのだと実感しました。

それは、新たな可能性を生み出す場所であると共に、教育の現場としての「学び・知る」というエネルギーに溢れた場所なのだと思います。

専門分野の魅力

5千年前のエジプトから派生したと言われるガラスは、諸国の管理下での製造や、大手企業などの技術流出を防ぐ閉ざされた時代がごく最近まで続いていました。今日、私たちがこのガラス素材を扱い、ものづくりを行なう時、その透明な美しさや多彩な素材感等、不思議な魅力に多く出会います。その出会いに向き合う毎に、先人たちが一生懸命ガラス素材の可能性を追いつつ、その技法を守らなければと思う気持ちが伝わってくるのです。そして、そんな古くから大切にされ、愛された素材だからこそ、これからの新しい時代に結びつくものだと、私は感じ得てなりません。

今年1年の抱負

最近、「知行合一（ちこうごういつ）」という、中国の古い学説を知りました。知識や認識は実行を予想しているものであり、知って行わない事は真には知っていない事ではない、との意味なのですが、知ったそこに知識だけの自分がいたような気がして愕然としました。

この時から、この言葉の意味を常に心がけながら、頭（知識）だけでなく体全身を動かし汗をかきながら実行し、リアルに生きている自分自身の道をデザインできたらと思っています。



江尻 憲泰 教授
建築・環境デザイン学科
専門分野：建築構造

NID・長岡の印象

非常勤講師の時から長い間、NID・長岡に関わってきて、まじめな人たちが非常に多いとの印象を持っています。一期生とも交流が続いていますが、皆努力家です。人が資源の日本にとって努力できる人は貴重な存在です。

町が活性化していないとの意見も聞きますが、少し変化が早い時期があったり、ゆっくりとした時期があったり、この十年の間にも変化してきています。経済の状況に大きく依存する東京に比べると人にとってはちょうど良いペースではないでしょうか。

専門分野の魅力

私の専門は構造設計です。今、非常に抑圧された状況があり魅力を語るには難しい時期です。いろいろな国や地域で法規や慣習がありますが、しかしながら、地球上の物理現象は変わりません。不特定多数の人たちの安全性の担い手としての誇りをもてるだけではなく、自分が原理を考えた建物一つ一つ実際の建物として完成し、多くの人の目に触れ何かを感じてもらえることは楽しいことであると思います。

今年1年の抱負

NID内部の人はもちろんのこと、外部の人たちにも構造設計はおもしろいと思ってもらうことが私の目標です。興味を持つことが、本当の勉強の第一歩で、そこから先は個人個人が自分で進んで行く道です。建築に携わる以上は多かれ少なかれ構造に関わってきます。自分で歩かすための入口に起つお手伝いをしたいと思っています。



川口 とし子 教授
建築・環境デザイン学科
専門分野：建築、インテリア、
プロダクトのデザイン

NID・長岡の印象

10年以上非常勤講師としてNIDに通い、時には長岡駅からキャンパスまで歩いたことも懐かしい思い出です。環境が抜群で、四季の変化が豊かで、歴史性もある長岡に大いに可能性を感じます。

またNIDのキャンパスは空間的にもランドスケープ的にも伸びやかで美しく、当初訪れたとき一番心に残ったのは学生さんのマナーの良さでした。それは今も変わらず、恵まれた環境で若者は磨かれデザイナー・マインドを培っていきけるのだと感じています。

専門分野の魅力

建築・インテリア・プロダクトのデザインは生活そのものを支える空間や道具をより美しく、使いやすく、丈夫にすることであり、人類最大のテーマ「地球環境問題を乗り越えられるか？」に直結した分野です。そこでは、素材（マテリアル）の選択とそれを如何に料理するかが重要であり、多くの人々に喜んでもらうには労をいとわぬ修練もともないますが、美味しい！の笑顔にまさるものではありません。美意識こそ人生を実感できる世界です。

今年1年の抱負

今まで建築を中心に幅広く実務で培ってきたデザインのスキル（技量）を、精一杯、学生さんに伝えていくこと。卒業研究指導に当たる6名、各々のテーマを共に学び深めて行き、さらに各々の意見交換を通してより広がりのある発見に繋げていくこと。長岡造形大学から発信していく機会をより多く持てるよう心がけたいと思っています。まずは、シーズン2を迎えたTV「大改造劇的ビフォーアフター」の5回目の登板を無事成し遂げること。

))) introduction

NIDの個性あふれる授業を紹介していきます。
今回は前期に開講している授業を学科ごとにピックアップしました。

プロダクトデザイン演習Ⅱ —

第3学年前期

必修／演習

🔗 こんな授業！

基本的なリサーチからコンセプトプランニング、アイデア展開、レンダリング、プレゼンテーションと、各ステップを教員と1対1のサジェッションを行いながら進めます。ここでの作品はコンペ等へ応募することもあります。

📖 ピックアップ・テーマ

この授業では基本的なテーマを提示し、それを各学生が自由に解釈して作品制作を進めます。今年の課題のテーマの1つは「モラル」でした。初めに身の回りの「モラル」について個々に調査、取材を行い、レポートを発表します。

それを全員でディスカッションしながらコンセプトの方向性を検討します。追加の調査を経て、ユニークで有効性のあるコンセプトを立案し、プレゼンテーションをします。次にコンセプトに基づいて具体的な提案のアイデア出し、スタイリングの検討を行い、最後にプレゼンテーションボードにまとめ発表します。

😊 ここが面白い

実際の企業活動の中では、1人のデザイナーが調査からモデル作りまでこなすことは殆どありませんが、この授業では全てのフェーズを1人で行うことができるので一貫性のある作品を制作できます。クオリティの高い作品はそのまま社会に提案できるものになります。大変ですがその達成感が魅力だと思います。



↑ 歩行により発電する装置
↓ 人にも環境にも優しいベンチ



写真・映像デザイン演習Ⅱ —

第3学年前期

必修／演習

🔗 こんな授業！

写真・映像それぞれの授業を全員が交互に受講します。作品制作に必要なデジタル一眼レフカメラやビデオカメラの使い方や、ライティング（照明の当て方・光の質の作り方）、撮影に対する技術、編集ソフトの使い方はもちろん。イメージの飛躍のさせ方、その表現方法に関して、考え方、コンセプトの立て方、アイデアの出し方、コマ割りやストーリーの立て方の訓練をしていきます。

📖 ピックアップ・テーマ

写真の授業では、好きなアーティストの好きな曲のDVDのジャケットを写真で制作します。同時にポスター、ライナーノーツ、レーベルも写真を使い制作します。

映像の授業では、そのアーティストの好きな曲のMV（ミュージックビデオ）を制作します。

😊 ここが面白い

曲に自分のイメージを合わせることの難しさ、それを表現するために必要な知識、技術の難しさ。でもそれを成し遂げた時の達成感は、何事にも代えがたいものです。なぜなら好きなアーティストの好きな曲のMVとそのDVDジャケットを、自分自身の手で作れるのですから。



↑ DVDジャケット案を構想中
↓ 「花柳葬」DVDジャケット



テキスタイルデザイン演習Ⅱ —

第3学年前期

必修／演習

🔗 こんな授業！

この授業では受講者は織または染のどちらかを選択します。テキスタイルデザイン演習Ⅰ(A)(B)で修得した基礎力をベースにして、テキスタイルデザイン演習Ⅲや卒業研究につながる技術や知識を学んでいきます。織は大機を用いて様々な技法で作品を制作します。染は広巾の布にリビート模様をデザイン・染色をします。

📖 ピックアップ・テーマ

織は、「大きな手織機で大きな布を織る」をテーマに自由なデザインの絨布と、面白い組織の布を織ることを体験します。染は、「リビート型をつくる」をテーマに型糊防染染め、型紙捺染、シルクスクリーンプリントと3種類の手法を体験します。

😊 ここが面白い

織の第1課題は、1本の糸を色々な色に染め、絨ざらしなども体験し、大きな布作りの醍醐味を味わいます。

第2課題では主としてスウェーデンの織組織を参考にして織機の構造と布の組織の関係を学びます。

染は、2年次に習得した型糊防染の手法を用いて、植物デッサンから、リビート型をおこし、糊置き・染色を行います。次に同じ植物の着彩から、リビート型をおこし、捺染という手法で複数色の染色を行います。この2つの課題ではリビート模様の作り方、形・色の要素の省略および整理の仕方について学びます。



↑ スウェーデン織
↓ 型紙捺染



環境保存演習Ⅱ —

第3学年前期

必修／演習

🔗 こんな授業！

「文化財建造物や保存修復の現場を見て回り、文化財修復を志す自分にとっての何かを見つけ出す。」それがこの授業を貫く考えです。ある人はそこで職業を選びました。宮大工、茅葺職人、左官職人、檜皮葺職人、文化財保存技師。

一方、文化財建造物の模型制作を通して建物実際の姿のあり方、文化財建造物を修復・活用する課題によって、活用における問題点や方法を学びます。

📖 ピックアップ・テーマ

配水塔に登る！：長岡市のだ真ん中に位置する、国登録文化財である「水道タンク」地上から30m余の高さにあるタンクへ実際に登り、この建物の修復・活用を考え、提案します。図書館、資料館、プール、はたまた結婚式場や自動車整備工場と、建物の持つ可能性は無限大。1人1人の建物へ寄せる思いが形となります。

😊 ここが面白い

新潟県中の文化財を見ることが出来ます。加えて、修復の現場を直に知ることが出来ます。建物の修理では普段見ることのできない部材の接合部や小屋組、壁の下地まで残らず見ることが出来ます。

そして建築とはこのようにして生み出され、人々の営々たる努力で現在にまで伝えられた、ということを肌で感じ、自分もその1人になりたい!!、と強く実感できるはずです。



↑ 茅葺職人 第1期卒業生大谷内さん
↓ 長岡市旧中島配水塔タンク内部





渡邊 和宏 現 プロダクトデザイン学科
ものデザイン学科
3年／プロダクトデザインコース
出身：新発田南高等学校（新潟県）

今、取り組んでいること

作品集の作成のために、過去の作品の手直しと、ページレイアウトを考えています。2年後期に作ったモデルは、もう一度、磨きをかけてから作品集に載せたいと思います。



↑マウスのモデル

今後の課題や目標

「失敗を恐れるな」とよく言われますが、恐れなかった失敗から学ぶことは少ないように感じるので“慎重になりすぎて行動しないことを恐れる”を目標にしようと考えています。

NIDのオススメの過ごし方

1時間前は人けが少なく、優雅な時をすごせます。庭にはアオサギなどたくさんの鳥がいて、特にシジュウカラが雪の上を走る姿は、足がよく見えズリュージョンみたいで好きです。

はまっていること

よく思索にふけています。本を読んだり、イラストを描いたり、散歩したりしながら考え事をします。多分人には「そんな悩みは思春期で卒業したよ」と言われそうなことをつつらと考えています。



↑イラストを描きながら思索中



島田 百恵
視覚デザイン学科
3年／デジタルデザインコース
出身：新潟清心女子高等学校（新潟県）

今、取り組んでいること

授業課題でフルフラッシュサイトを制作しました。初めてだったのでとても大変でしたが、パソコンの画面上でものが指示した通りに動いたり音が鳴ったりと、魔法使いになったようで楽しかったです。また、興味のあるものなどのサイトを制作しています。最近はBGMも自分で作れるよう、いろんな音楽を聴いて勉強しています。



↑フルフラッシュサイト

今後の課題や目標

自立できるようになる為に、課題制作などをとおして必要なセンスとスキルを磨き、就職に繋げていきたいです。その上で、多くの人と交流し、楽しさや心地よさなどを共有し、またものをつくるのが好きという気持ちを見失わないようにしていきたいです。

はまっていること

時間のある時に、友達のアート「キャサリン」でよく海に行きます。そこで、くだらない話やまじめな話をしたり、ただぼーっとしていると、いつの間にか外が真っ暗になっていてびっくりします。こういった友達と過ごす時間が何よりも癒されます。あとイラストを描くことも好きでよく描いています。



↑イラストを描いているところ



木津 朋子 現 美術・工芸学科
ものデザイン学科
3年／金属工芸デザインコース
出身：秋田中央高等学校（秋田県）

今、取り組んでいること

「工芸デザイン演習Ⅱ」で鍛金の絞りによる器（盛器）の制作と、ガラスのキルンキャストによるインサイドレリーフ技法を使った照明器具の制作をしています。鍛金の器では集中力と忍耐力が必要で、先生が「山登りと一緒だ」と話していました。本当にその通りで、行って、帰って、迷って…（笑）。今はガラスの制作で「自分の世界」を探索中です。



↑2年次演習作品

今後の課題や目標

この大学には、私のことを分かってくれて相談できる友達がたくさんいるので嬉しくてたまりません。今はその友達と、あれこれやりたいことを計画しています。

NIDのオススメの過ごし方

私はダンスサークル「No wall digger」に所属しています。この間、音楽サークルと合同で新入生歓迎会のイベントを開催しました。言いだしっぺの責任者になり、課題制作とイベント準備の両立は正直辛かったですが、イベントが終わった後のみんなの笑顔とキラキラした空間に染みるものがあって、本当にやって良かったと思っています。



↑ダンスのメンバーと



富田 かほり 現 ランドスケープデザインコース
建築・環境デザイン学科
3年／空間デザインコース
出身：佐渡高等学校（新潟県）

今、取り組んでいること

授業で「エコ・ヴィレッジ」の課題に取り組んでいます。エコを自分なりに考えて、私は無農薬、循環型農園であると思い、設計しています。ハーブを使った農園なのですが、ハーブを野菜や果樹と一緒に植えることで虫を寄せ付けなくしたりする効果があるらしいです。もう少しで提出なので、少し焦りはありますが、自分の好きな事、やりたい事なので楽しく課題に取り組んでいます。



↑コンテナコンテストの風景

今後の課題や目標

最終的に起業が目標なので、それまでは、必死にランドスケープの勉強と自分のデザインを見つけることを頑張っていると思っています。あとは、英語も少ししゃべりたいなーって考えているので、そっちの勉強も始めようかな、なんて…。

はまっていること

暇があればドライブに行きます。洗車して、ルンルン気分好きな音楽を聴きながら、シーサイドラインとかスカイラインとか走っています。晴れた日とか、海の向こう側に佐渡が見えたら、テンションは最高に上がりますね。新潟特有の景色ですし、私の地元ですからね。



↑日本海の海岸

))) introduction

NIDを巣立ち、社会で活躍する卒業生をご紹介します。
卒業生の様子をぜひご覧ください。



五十嵐 暁人

勤務先：スズキ株式会社
職 名：クレイモデラー

1983年生まれ。新潟県出身。
2002年 高志高等学校(新潟県)卒業
2006年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科
工業デザインコース卒業
2006年 スズキ株式会社入社



現在の仕事内容

自動車のデザインモデルを担当し、デザイナーの描いたスケッチを参考に、特殊な粘土を使用し、1/3～1/1のクレイモデルを製作しています。また、3DCADを使ったモデリングも行っており、最終的な製品データまで手がけています。

仕事に就く“きっかけ”

プロダクトデザインコースに進み、自分のデザインしたスケッチを実際のモデルにする過程を繰り返すうちに、立体を構築するおもしろさに魅かれ、現在のクレイモデラーという職業に就きました。

学生へのアドバイス

月並みですが、勉強と遊びを両立させる事です。大学時代の様に自由な時間を過ごせる時期はなかなかないと思います。友達や趣味を大事にしてたくさん楽しい思い出を作ってください。そして大学のカリキュラムを通して自分の目標が決ったらそれに向かって全力疾走して下さい。

夢や目標

入社4年目になりましたが、日々の業務をこなす事で精一杯なのが正直な所です。今後は幅広い視野を持ち、車全体の造形を構築できる能力を身につけたいと思います。そして、頼る立場から頼られる人間に成長できればと思います。その為に努力を惜しまず、日々の業務に打ち込みたいと思います。



藤井 温子

勤務先：株式会社ジェイスリー
職 名：webデザイナー

1984年生まれ。新潟県出身。
2003年 新潟青陵高等学校(新潟県)卒業
2007年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科
視覚デザインコース卒業
2007年 株式会社ジェイスリー入社



現在の仕事内容

webデザイナーとして、デザイン、コーディングを担当しています。一つの案件に対して、デザインから公開作業まで行うこともあります。最近では、カネボウTIFFAのブランドサイトのリニューアルを担当しました。

仕事に就く“きっかけ”

子どもの時からモノづくりには興味や憧れがあり、絵を描いたりすることも好きでした。今の仕事に就くきっかけとなったのは、学生の時に作った自分のwebサイトでした。自分の作品を紹介するためのサイトだったのですがサイトを作る作業に楽しさを感じ今に繋がっています。

学生へのアドバイス

とにかくいろんなことを経験することが大事だと思います。自分の作品だけでなく友人の作品をたくさん見る事によって良い刺激になると思います。何か興味を持てる事があったらとことんやれば、それがいずれ強みになりますし、就職活動の際にも有利になると思います。

夢や目標

最初は、自分だけのために趣味で作っていたwebサイトでしたが、今は、仕事としてデザインのにも技術的にも人に優しい、ユーザビリティの高いwebサイトをたくさんの人に見てもらえるように頑張っていきたいと思っています。



飯濱 めぐみ

勤務先：有限会社エフディー
職 名：プロダクトデザイナー

1984年生まれ。新潟県出身。
2002年 帝京長岡高等学校(新潟県)卒業
2006年 長岡造形大学造形学部産業デザイン学科
工芸デザインコース卒業
2006年 有限会社エフディー入社



現在の仕事内容

主に三条や燕の仕事をさせて頂いています。金属加工に最も優れたスキルと歴史を持った地域です。依頼された案件によって自分たちで見積をし、作業に入ります。デザインスケッチから構造、生産性の確認をし、3Dによるモデリング作業、そして直接打ち合わせに行ったり、プレゼンに行ったりします。それらが決定したら意匠設計、モックアップの制作等を行います。

仕事に就く“きっかけ”

ものをつくる仕事に就きたくて、選択肢の多い東京で就職活動もしました。でも活動の中でいろんな人たちに影響され生まれ育った新潟で、今の自分ができる社会貢献、地域活性をしたいという思いが強くなり、現在の会社のHPを何かのきっかけで発見したとき、新潟にこんな会社があったのかとすぐに電話して面接してもらい、現在の会社で働いています。

学生へのアドバイス

前から気になっていたことをとことん調べたり、心ときめく理由を探してみたり、好奇心や探究心はその人の知識や人間性を広げるものだと思います。それと同時に、どの環境でも人間関係が一番大切だとも実感しています。良い人間関係を作れば何倍も楽しくなるし、学べる幅も広がると思います。



津波古 ゆき乃

勤務先：株式会社ディスパジオ・デザイン
職 名：デザイナー

1986年生まれ。沖縄県出身。
2005年 知念高等学校(沖縄県)卒業
2009年 長岡造形大学造形学部環境デザイン学科
建築デザインコース卒業
2009年 株式会社ディスパジオ・デザイン入社



現在の仕事内容

百貨店やアパレルショップなどの商業施設の設計に携わっています。デザインにおいては、CGによるシミュレーションを取り入れており、リアリティを追求すること、お客様のイメージを的確に反映させることが、難しくとても苦労しますが、お客様から喜んで頂くことや、ブランドの顔となる店舗のデザインに携われることは、大きな励みになります。

学生へのアドバイス

課題のこと、デザインのこと、趣味のこと…沢山話し合えた大学での友人や先輩、先生との出会いは、私の財産だと思っています。また、アトリエで制作している風景や他学科の作品、図書館の本…沢山の刺激を貰えます。授業が無い日でも、大学に来る意味・価値があるのが、長岡造形大学の素敵どころです。

夢や目標

多くの人に、「この空間楽しい！」とってもらえるような、デザインやディスプレイを手掛けることが目標です。そのために、辛いこともありますが、勉強して、そして自分自身楽しみながら、色々なことを吸収して、身につけていきたいと考えています。

))) introduction

豊富な経験と実績を持つ教員をシリーズでご紹介していきます。
今回も個性あふれる4名の教員をご紹介します。



境野 広志 教授

プロダクトデザイン学科／教務部長
専門分野：工業デザイン



専門分野の魅力

プロダクトデザインとは人の生活をデザインすることです。そして人の生活は極めて私的でありながら、社会、世界、地球と深く結びついています。今、それらの枠組みが大きく変わろうとしている時です。これからの人の生活を考えること。尽きせぬ魅力があります。

最近のトピックス

先日、雪形学会の会長から、合宿報告のメールがありました。雪形というのは山の雪が解けてきた時に見えてくる形を馬や人に見立てるもので、地形によって毎年同じ時期に同じ形が出るので日本では昔から田植えや種まきの暦としてきたものです。民俗学的にも面白いのですが、ようは単なるマダラ模様には人何故、特別の意味を見出すのか。デザインや認知心理学の立場からも興味深いテーマだと思っています。

さて報告内容ですが、合宿では青森の岩木山に行ったそうで、天気やロケーションは非常に良かったのですが、例年なら見えるはずの雪形は「心眼」でしか見えなかったそうです。自然の暦も変わってってしまうのかと感じた話でした。

学生へのアドバイス

ものをデザインするには、知識や技術だけでなく、感動する心が必要です。バーチャルな世界でも感動はできますが、やはり直に肌で感じたり、自然の声を聴いたりすることが本当の感動を生むものだと思います。よく言われることですが、知らない土地を自分の足で歩き、見て、聴く、つまり旅をすることが大事だと思います。自由な時間が多いのが学生の特権ですから、是非トライしてください。



松本 明彦 教授

視覚デザイン学科
専門分野：写真・デジタルフォト



専門分野の魅力

自分のイメージをカメラ、PCやマック、ソフトを使い具現化できること。自分の見たいイメージを、自分の手で創り出せること。

最近のトピックス

私の作品を見た若いアーティストが「一緒に作品を創りたい」と言ってくれたこと。HM（ヘアメイク）、ST（スタイリスト）、M（モデル）…。新しい出会い、新しい才能、新しい作品にワクワクします。

学生へのアドバイス

長岡造形大学の4年間で、本当に自分の好きなモノを見つけてください。本当に好きなことなら、ずっと続けられます。



鈴木 均治 教授

美術・工芸学科／デザイン研究開発センター長
専門分野：テキスタイルデザイン（染色）



専門分野の魅力

私は、模様を布に染色すること＝布を創造することだと考えています。布はそれぞれに美しいテクスチャーを持ち、みな個性的な表情を持っています。布は染めなくても既に織られた段階で布として成立しています。ですから、むやみに染めることはしません。色と模様で布が持つ印象を高めることが出来た時、布は布としての存在感を増します。それが出来た時は最高の瞬間です。

最近のトピックス

この4月、学生手ぬぐい「新潟手ぬぐい」の販売が始まりました。今年で3回目です。私が学生のデザイン力を周知したいと考え、家が染工場をしている卒業生に話をもちかけ実現したものです。製作工程のうち、模様のデザインから型取りまでは学生が行い、染めの工程の一部をその卒業生が担当しています。県内の美術館売店やデパートなどに並んでいますので是非ご覧ください。

学生へのアドバイス

学生時代、自分は卒業制作の質と量、共にクラスの誰にも負けてなかったという自負があります。毎日帰りには余力も残らない程疲れましたが、制作が出来た喜びと、今日出来ることは全部出し切った充実感がありました。それは自信につながりました。身の程も知りましたが、気づかなかった自分の才能にも出会えました。大切なのは、これだと思ったことは、精一杯やることだと思います。



新海 俊一 准教授

建築・環境デザイン学科
専門分野：建築計画、建築設計、情報科学



専門分野の魅力

情報処理系科目の担当が多いせいか、私はコンピュータが専門だと思われがちですが、私はコンピュータをデザインや研究のツールとして割り切っています。建築の計画や設計、そのコーディネート、プロデュースが専門です。これら専門分野に関わる業務の殆どで、他の分野のデザイナーや技術者、研究者と協同作業が欠かせません。立場の異なる人との仕事で発見するもの、得るものが沢山ある点が私の専門分野の魅力だと思います。

最近のトピックス

昨年は私が企画から設計まで手がけた長岡市内の福祉施設が竣工しました。また、いくつかのデザインコンペ、共同研究に参加しています。昨年から取り組んでいる業務には塩沢牧之通りの照明デザイン、長岡市与板地区のまちづくり、大地の芸術祭への作品出品があります。一方、趣味のクルマいじりが高じて、最近ではメカいじりにとどまらず、内装の修理などにも手を広げています。

学生へのアドバイス

私達は、知識や技術のストックを日々更新しながら学生指導やデザインワークに取り組んでいます。しかし、実は学生諸君や仕事の発注者から学ぶことが沢山あります。これからデザインの分野に羽ばたく学生諸君には、些細なことからも敏感に何かを感じ取れるようにいつもアンテナ感度を上げて生活することをお勧めします。それがみなさんにとって、明日の貴重な財産になるはずです。

インターンシップへの取り組みについて

数年前から県内県外を問わずインターンシップとして、3年生の夏期休業期間を中心に企業での就業体験を行なうことが盛んになっています。しかしその内容は単に企業に数日間通うだけのものであったり、本学の専門分野を生かせる企業が少なかったりと言う状況です。その中で本学では独自のインターンシップとして、本学の専

門分野でのテーマを設定し、事前準備から実習、講評会まで学生、企業、大学の3者により手作りのインターンシップとして取り組んでいます。

昨年度は計40名ほどの学生が参加し、アンケートや講評会での感想では、「参加して良かった」「プロの仕事ぶりを見ることができた」「将来を考える上で参考になった」

など参加した学生のほとんどが貴重な経験を積むことができました。

今年度は景気の悪化もあり、インターンシップを実施する企業も少なくなることが予想されますが、少しでも多くの学生にインターンシップに参加してもらい、自分の将来を考える1つのきっかけとして欲しいと思います。

2008年度 インターンシップ実施抜粋

●東海理化「自動車を取り巻く通信技術の応用」 ●本田技術研究所（2輪）「世界にひとつだけのオリジナルグラフィックヘルメットを創る」 ●明昌堂「雑誌のデザイン」 ●ツインバード工業「商品企画を進めるプロセスを実習」 ●三条市との連携によるインターンシップ（3社）



昨年の就職状況について

昨年度卒業生の就職実績について、特筆すべきことは就職環境の急激な悪化があげられます。本学学生が志望する業界の特徴として、秋採用や卒業制作の作品を見て採用する企業などがあり、他大学に比べても影響を受けた学生数は少なくありませんでした。そのような状況においても最終的には就職希望者の約75%が内定を得るこ

とことができました。悪化した求人状況の中でもあきらめずに希望の業界や職種にこだわって活動し、結果を残した学生も見受けられました。大学側でもこれらの学生に対して、教員及び就職進路開発センターのスタッフが個別での指導を進め、さらにはハローワークやジョブカフェなどとも連携し、可能な限りのサポートを行ないました。

今年度の就職状況がさらに厳しい状況であることは、連日の報道などにもある通りです。その中で現4年生においても少しずつ結果が出ていますが苦勞している学生も見受けられます。大学でも昨年同様、またそれ以上のサポートを行なっていきたいと考えています。

保護者向け就職ガイダンスのご案内

毎年実施している、在学生の保護者の方を対象とした就職ガイダンスを今年も実施します。今年大きく変化した新卒採用状況についてなどを、実際に就職ナビを運営している企業の担当者より説明します。当日はオープンキャンパスも開催していますので、ぜひご参加をお待ちしています。

日時：2009年7月26日（日）

13:00～16:00

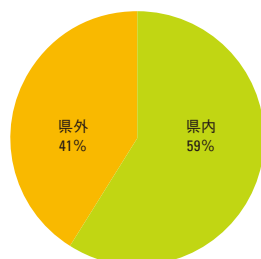
会場：長岡造形大学内
大講義室

備考：当日は個別面談も受付ます。

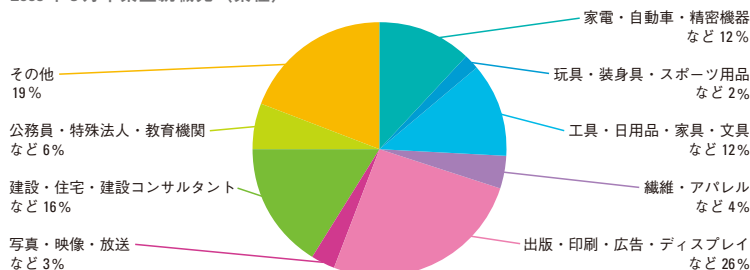
10:00～17:00

（保護者ガイダンス開催時間は除きます）

2009年3月卒業生就職先（地域）



2009年3月卒業生就職先（業種）





長岡造形大学保護者会「大地」の活動内容や事業報告などを行っていくコーナーです。

レストランリニューアル！

保護者会15周年事業として大学のレストランリニューアル事業および新クラブハウス空調設備工事に対し寄付を実施しました。

レストランはレイアウトの変更およびテーブル等の購入により席数も32席増え、昼食時の混雑も幾分緩和されています。

また古くなった厨房の機器を入れ替えることで、今まで提供できなかった“グリル系”のメニューも可能になり、よりおいしく、より快適なレストランに生まれ変わりました。

また、新クラブハウスに新しい空調設備が入りました。今まで以上に学生のサークル活動も活発になることが期待されます。



保護者会会長あいさつ



長岡造形大学保護者会「大地」
会長 永田 孝一

「NID News」第4号発行にあたり、ご挨拶させていただきます。日頃は、保護者会「大地」の運営・活動に会員、大学関係者の皆様に、ご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

特に昨年度は、保護者会15周年事業として、レストランリニューアル事業、および新クラブハウス空調設備工事において、関係者の皆様に尽力いただきました。レストランはレイアウト変更に伴い238席へ席数が増え、より多くの

皆さんに利用していただけるようになり、シンプルかつ機能的に生まれ変わりました。4月14日の保護者会「大地」の役員会の折、試食会を行い、実際に学生と同じメニューの中から選択し、その後店長を交え意見交換をいたしました。日替り定食やから揚げカレー等々、人気メニューの価格も380円に抑えられており、各委員からも、価格、味には納得の表情が見られました。またボリューム、食材の安心度等、多岐にわたり活発な質疑応答が行われ、店長から「地産地消」に心がけ、仕入れには、「安心、安全を一番考えている」との回答をいただきました。学生が大いにこのレストランを活用し、現代の食生活の乱れを少しでもなくし、勉学のバックアップになってくれたらと思われる委員・保護者も多いことと思われました。保護者の皆様も大学に来られた際はぜひお召し上がり頂きたいと思います。

昨年の米国発、リーマンショック、サブプライムローンの破綻で、世界中が影響を受ける大変な状況での就職活動において、第一希望入社は相当の難関となっています。そんな中、より早く就職活動へ動き出せるよう、今年度も東京シャトルバス「就活特別号」の運行が予定されています。大規模な東京の会社説明会に参加することで、より就職に対する関心が高まることと思います。また、今年度1台増便した通常の東京シャトルバスも、就職活動の手助けとなるでしょう。多くの学生の将来への第一歩が、親子共々喜べる結果になるよう祈るばかりです。

「ピンチはチャンス」と言いますし、「逆境にこそ、人材が育つ」とも言います。我々も、学生諸君を信じ、「Yes We Can」で、保護者会の役割を果たしてまいりたいと考えています。関係各位のますますのご支援をお願い致します。

長岡造形大学保護者会「大地」の主な事業を紹介します。

東京シャトルバスの運行

毎月1回程度、大学と東京を往復する長岡造形大学生専用の貸切バスを運行しています。1回2,000円(往復)という格安料金で利用できます。

入学祝賀パーティーの開催

入学式後に入学祝賀パーティーを開催しています。パーティーは、入学を祝うだけでなくホームルーム担任との顔合わせも兼ねています。



ホームルーム懇親会への助成

1・2年生のホームルーム単位で開催される懇親会時の飲食費を助成しています。

レストラン利用券の配布

全学生に3,800円分の利用券を配布しています。券は10枚綴りの食券で、この食券を使用することで380円のメニューを無料で食べることができます。

学研災保険への加入

通学・授業・クラブ活動時等の万が一の事故に備えるため学生教育研究災害傷害保険に全学生が加入し、その保険料を負担しています。

学生会活動への助成

サークル活動や大学祭など、学生会の自主的な活動をサポートしています。

最近のイベントや学生活動などをピックアップしてご紹介します。

公共広告CM学生賞

BS民放賞 受賞

2009.3

第5回公共広告CM学生賞(AC公共広告機構主催)において、応募学校数19校、応募総数118作品の中から、視覚デザイン学科の学生がみごとBS民放賞を受賞しました。応募作品は授業課題として取り組んだ作品であり、学生それぞれが監督・出演・撮影・編集・音響効果などの役割分担をしてコマーシャルの企画から制作までを行ったものです。今回で5回目を数えるコンペですが、NIDの学生たちの作品が多くの賞を受賞しています。



第83回国画会展工芸の部

入選

2009.4

第83回国画会展工芸の部(国画会主催)において五十嵐文音さん(テキスタイルデザインコース卒)と高野奈美子さん(テキスタイルデザインコース4年)2名の作品が入選しました。同展は日本最大級の公募展で、本学からは昨年に引き続き2名が、そして五十嵐さんは2年連続の入選となりました。



五十嵐さんの作品



高野さんの作品

NID OPEN CAMPUS '09

7月25(土)、26日(日)開催!

information

7月25日、26日の2日間オープンキャンパスを開催します。在学生のキャンパスライフの紹介や高校生の保護者の皆様に向けた説明会、卒業生の現在の仕事紹介、アトリエ工学や作品展示等、様々な企画をご用意して長岡造形大学の魅力をご紹介します。多数のご参加お待ちしております。



夏期デッサン教室を開催します。

8月4日～10日

information

高校生を対象とした「夏期デッサン教室」を8月4日～10日の日程で開催します。学年やデッサン経験の有無を問わず基礎からデッサンを学び、様々なモチーフの課題に取り組み、仕上げた作品は本学教員が講評します。



ながぶろ

随時更新中です。

information

長岡造形大学では、大学の「今」をお伝えするブログ「ながぶろ」(長岡造形大学入試広報課ブログ)を随時更新しています。授業の事や学内外での学生活動、大学イベント情報、学生の日常をリレー形式で紹介している「NIDiary」など長岡造形大学をあらゆる角度からご紹介しています。是非ご覧ください。

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/blog/nyushi/>



長岡造形大学校友会SNSを

ご存知ですか?

information

長岡造形大学校友会SNSは、社会で活躍する卒業生や、現在熱心に学んでいる在学生、教職員3者が一つの場でコミュニケーションを図り、同窓メンバーとの交流をさらに深めることを目的としています。また、この校友会SNSを通じ新規プロジェクト・コラボレーション企画へ展開することを期待し、皆様のご活躍に貢献できるよう校友会SNSが活用さればと考えています。卒業生・教員の方の活躍をはじめ様々な情報を交換していきたいと思っています。どうぞ、お気軽にご参加ください。



【登録・利用開始方法】

以下のURLまたはQRコードから新規登録申請フォームへアクセスし、必要事項を記入の上、送信してください。後ほど運営事務局より招待メールが届きます。あとはメールに従って登録して頂いて、利用可能となります。

<http://www.nid-aa.net/sns/>



Editor's Note

今号では新任された先生方をご紹介させていただきましたが、いかがでしたでしょうか? 個人的にざっくばらんに話してみたい先生ばかりでした。

また、今年度から新しい学科やコースが増えました。「ベルトの授業」と別名で呼ばれている基礎造形実習Ⅰは今年度から新しいカリキュラムとして実施されています。毎日、午前中みっちり行うということで、「虎の穴」を想起してしまいました。この雰囲気触発されて自分も何かががんばるぞと思いましたが、まずがんばる目標を決めなければ...

来年春には新校舎ができあがる予定です。今年、来年にかけてNIDは新しいことが目白押しです。お近くにお越しの際はぜひ大学をのぞいてみてください。

表紙写真:「モナ・リザ」

編集・発行



Nagaoka Institute of Design

長岡造形大学

長岡造形大学入試広報課

940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3311 Fax. 0258-21-3312

E-mail: nyushi@nagaoka-id.ac.jp

<http://www.nagaoka-id.ac.jp/>